

報告書

第6回 J L A シミュレーション審査会

目次

1. 概要
2. 审查会風景写真
3. 所感

第6回JLAシミュレーション審査会の概要

第6回JLAシミュレーション審査会 実施細部

審査会実施概要

1. 実施日・実施場所

- 2021年10月17日(日) 千葉県山武郡九十九里町 片貝海岸
- 2021年10月24日(日) 福井県高浜町 若狭和田海岸
- 2021年12月5日(日) 宮崎県 宮崎市 青島海岸
- 2021年12月11日(土) 静岡県下田市 吉佐美大浜海岸
- 2021年12月18日(土) 神奈川県 横須賀市・三浦市 和田長浜海岸

想定実施細部

1. 想定のご略

係員統括(以下統括)の『想定はじめ』の合図で計測開始とします。

6名態勢で通常の監視業務中に有事が起きてしまった。

他にも遊泳客は存在し、海のコンディションは当日の状況とします。

遊泳禁止等の判断は海浜組合・役場の3者と協議し決定しているため容易に変更できない状況です。

実施者により仮想119通報があり、救急隊を要請された場合、後に救急隊が到着します。

統括の『想定終了』の合図によって審査終了とします。

想定に別途変更などあった場合、当日事前説明時に変更点や付加事項など、告知できる範囲で実施チームにお知らせします。

2. 実施時間 9分間

3. 実施人数 6名 内訳(監視長1名 監視員5名)

4. 使用資器材

レスキューボード、レスキューチューブ×2、双眼鏡、パイプ椅子、拡声器、AED(訓練用AED、実機用パット×2)、バックボード、ネックカラー、傷病者記録票(バインダー含む)、デスポググローブ×100、詰所テント、トランシーバー×4基(仮想消防含む)、毛布。

※JLAが用意する使用資器材に不足を感じた実施チームは、普段パトロールに使用している資器材を持ち込み可能とします。タイムテーブルに支障をきたさない範囲(浜に進入後3分以内)で準備してください。

5. 審査項目【審査表は当日審査員に配付】

- ① 継続監視要領
- ② ライフセーバー間の連携要領
- ③ 傷病者への観察要領
- ④ 救急隊への引き継ぎ要領
- ⑤ 観衆への対応要領
- ⑥ 監視長の指揮要領
- ⑦ 資器材の適正な取扱い要領
- ⑧ 環境に配慮した対応要領(感染対策含む)
- ⑨ 接遇要領
- ⑩ 関係者の対応要領

第6回JLAシミュレーション審査会の概要

【審査会の趣旨】

ライフセーバーの海水浴場監視活動中に発生するあらゆる水難事故を想定し、溺水者や傷病者を早期に発見し、迅速で的確な一次救命処置から救急隊及び医療機関へ引き継ぐまでの連携技能を高めることで、溺水者、傷病者の社会復帰を確実にする。

【審査会の目的】

監視業務継続中、有事の対応及び医療機関まで『命をリレーする一員』として、連携能力向上を目的とする。

第6回 J L A シミュレーション審査会の概要

2021年度 想定

時間	項目
0分	監視員（以下LS）詰所テント（以下監視台）に実施チームは待機 固定監視 監視員の「準備よし」の呼称があったら 統括の『想定はじめ』の合図で計測開始
想定開始後 0秒後スタート 本部前波打ち際から	監視本部目の前の波打ち際から、傷病者A（年齢実年齢、会社員、廣川健太（ひろかわけんた）若しくは良子（よしこ））が、ボディサーフィン中に前転してしまい、おでこ（前頭部）を海底（固く締まった砂）に強打し、頸部に鈍い音を感じた直後から両肩から先に刺すような痛みを感じ、両上肢が激しい痛みと共に動かなくなったと訴えつつ自力歩行可能な状態で、監視本部まで歩いてきた。時間経過とともに痛みが増してきたと訴える。 想定のねらい：受傷部位頸椎損傷。観察や傷病者から聴取した情報を理解し適切な処置ができるか 想定の流れと説明：救急要請を実施しつつ、頸部に動揺を与えないよう適切な固定を実施できるか。また、時間経過とともに容態変化の可能性も予測し、継続的な呼びかけや容態観察バイタルの変化など記録し救急隊に引き継げるか。 更には、監視本部に自力歩行できた傷病者に対しての感染防止対策は十分行えるか。
想定開始後 45秒後スタート 浜から駆け寄ってくる	監視本部前の波打ち際から通報者が駆け寄ってくる。監視本部から150m程度離れた浜に常設のトイレ前の砂浜で人が倒れていると通報を受ける。 通報者は、近隣民宿（はまゆう荘）の従業員（年齢実年齢、バイト、江連洋二（えづれようじ）若しくは里穂（りほ）。常設のトイレ前の人だかりを確認すると、集団で飲酒を行い、そのうちの一人が過度な飲酒により、激しくおう吐を繰り返し意識混濁のため危険と判断し、監視本部に来たが、いつから倒れていたか、前後の状況は全く分かっていない。 傷病者（年齢実年齢、アパレル従業員、鈴木学（まなぶ）若しくは咲（さき）。側臥位。周囲に飲酒したであろう酒類が落ちている。 周囲にいた傷病者の同僚も酩酊状態で大騒ぎしている。泣き叫ぶなど活動の弊害且つ常識的範囲で負荷想定がある。誰のせいだと喧嘩を始める者もいる。概ね6人程度。 傷病者バイタル： LS接触後1分で連続3回 胃内容物逆流 飯類大量に準備、その後に、意識レベル300）、上記状況以外は見たまま、外傷無し。（皮膚が赤い等はムラージュで表現負荷想定は傷病者の胸部に負荷想定項目を表記する。） 訓練用AEDを使用した場合は、解析するもショックの要なし。レベル300、呼吸あり、脈絡頸触れる。急性アルコール中毒。観衆による活動障害。 関係者友人Bは、LSが常設のトイレ前に来た時に現れる。酒に酔っている。更には慌てており、LS接触後30秒間は傷病者に『大丈夫？どうしたの？』と大声で話すだけで会話にならない。氏名年齢は聞かれなければ答えない。その後、荷物を取りに権兵衛という民宿まで行きたいと訴え始める。行かせてしまうと救急隊到着1分後まで戻ってこなくなる。 民宿に向かわせず、確保し傷病者の人定など情報収集すれば、以下の情報が得られる。 傷病者の名前（年齢実年齢、アパレル従業員、鈴木学（まなぶ）若しくは咲（さき））、電話番号は携帯をいじってしばらくしてから回答090-7000-5762、住所は回答できない品川区とだけ回答。 関係者（友人）からの情報は、一緒に飲んでいたが、傷病者は深酒のため寝たものかと思込み、おう吐していることに気づけなかった。気付いた時には呼びかけに反応がなく顔色が悪い状態だった。20分前の出来事。関係者（友人）は救急車に同乗可能。 想定のねらい：急性アルコール中毒。観察や関係者から聴取した情報を理解し適切な処置ができるか。 想定の流れと説明：救急要請を実施しつつ、先の頸椎損傷の傷病者に対して活動優先順位を救急隊に相談報告し判断できるか。時間経過とともに容態変化の可能性も予測し、継続的な呼びかけや容態観察バイタルの変化など記録し救急隊に引き継げるか。 更には、傷病者に対しての感染防止対策は十分行えるか。セカンド・サードとの感染対策の連携は十分であったか。継続監視は十分できているか【重要】。 119番通報はトランシーバーにより仮想消防を呼び出せばそれぞれ出場する。
想定開始 4分30秒後	救急隊砂浜に到着（軍靴で資器材多数：サブストレッチャー、隊長バック、吸引器、除細動器、酸素バック）
想定開始 7分後	救急隊長指示で、搬送開始 それまでは救急隊は観察継続
想定開始 9分後	車内収容完了 監視業務継続 統括の『想定終了』の合図で計測終了

想定及びJ L A側が準備する資器材が、急遽変更される場合があることをご理解ください。

第6回JLAシミュレーション審査会の概要

2021年10月17日(日) 千葉県山武郡九十九里町 片貝海岸タイムテーブル

時間	項目
09:00	係員集合 会場設営開始
09:20	会場設営完了 エキストラ説明会開始
09:45	エキストラ説明完了 審査員・救急隊エキストラ説明開始
10:15	審査員説明終了 実施チーム受付開始
10:30	全実施チーム参加者本部テント前集合 開会式に伴い集合
10:35	<p>主催者挨拶 日本ライフセービング協会 入谷拓哉 理事長</p> <p>紹介 審査員 銚子海上保安部 警備救難課長 高田敏明(とみたとしあき)様</p> <p>紹介 審査員 山武郡市広域行政組合消防本部 中央消防署 九十九里分署 副分署長 山本晃男(やまもとてるお)様</p> <p>紹介 審査員 九十九里町 産業振興課 商工観光係 主任主事 市東直樹(しとうなおき)様</p> <p>■救急隊エキストラ 山武郡市広域行政組合消防本部 中央消防署 九十九里分署 救急係長 栗崎大輔(くりさきだいすけ)様 消防士長 橋本拓也(はしもとたくや)様 消防副士長 中嶋拳(なかしまちから)様</p> <p>紹介 審査員 JLAアカデミー本部 九十九里LSC 江川 陽介</p> <p>紹介 審査員 JLAスポーツ本部 松井 宏泰</p> <p>紹介 審査員 JLA教育本部 鹿嶋LGT 小田 眞木子</p> <p>紹介 審査員 JLAMD 厚生労働省関東信越厚生局医療課医療監視員 医師 吉澤 大 先生</p> <p>紹介 審査員 JLAスーパーバイザー 小 峯 力(中央大学教授)</p> <p>紹介 審査員 JLAスーパーバイザー 山本 利春(国際武道大学教授)</p> <p>事務連絡及び補足説明</p>
11:00	第1回目実施 九十九里片貝ライフセービングチーム
11:20	第2回目実施 九十九里不動堂ライフセービングチーム
11:40	第3回目実施 九十九里富浦ライフセービングチーム
12:10	各公的救助機関、MD、スーパーバイザー、他、審査長の講評 表彰 事務連絡
13:00	<p>■実施チーム 撤収は審査員以外協力</p> <p>本部テント2張以外は撤収開始 車内積載開始 その後 解散</p>
13:20	■集合写真 事務連絡 全係員解散

※すべての事項は進行によって早まる可能性があります。

※エントリーの早かったチームは実施順序が後になっています。

第6回JLAシミュレーション審査会の概要

2021年10月24日(日) 福井県高浜町 若狭和田海岸 タイムテーブル

時間	項目
09:00	係員集合 会場設営開始
09:20	会場設営完了 エキストラ説明会開始
09:45	エキストラ説明完了 審査員・救急隊エキストラ説明開始
10:15	審査員説明終了 実施チーム受付開始
10:30	全実施チーム参加者本部テント前集合 開会式に伴い集合
10:35	<p>主催者挨拶 日本ライフセービング協会 救助救命本部本部長 石川仁恵</p> <p>ご挨拶 若狭消防組合 高浜分署長 岡 昭彦(おかあきひこ)様</p> <p>紹介 審査員 若狭消防組合 高浜分署 消防司令 上野雅章(うえのまさあき)様</p> <p>紹介 審査員 小浜海上保安署 地域海難防止対策官 木原雅司(きはらまさし)様</p> <p>紹介 審査員 小浜警察署 和田駐在所 友佐拓夢(ともさたくむ)様</p> <p>■救急隊エキストラ</p> <p>若狭消防組合 高浜分署</p> <p>消防士長 尾花幸太(おばなこうた)様</p> <p>消防副士長 大道雅也(だいどうまさや)様</p> <p>消防士 佐藤夏輝(さとうなつき)様</p> <p>紹介 審査員 J L A M D 君津中央病院 救命救急センター長 医師 北村 伸哉 先生</p> <p>紹介 審査員 広島県ライフセービング協会/福山ライフセービングクラブ 藤井 正弘</p> <p>紹介 審査員 新潟県ライフセービング協会/柏崎ライフセービングクラブ 池谷 雅美</p> <p>紹介 審査員 教育本部推薦 西岡 あゆみ</p> <p>紹介 審査員 アカデミー本部推薦 竹内 啓</p> <p>事務連絡及び補足説明</p>
11:00	第1回目実施 若狭和田ライフセービングクラブ
11:30	第2回目実施 大阪体育大学ライフセービングクラブ
12:00	<p>■集合写真</p> <p>各公的救助機関、JLA メディカルダイレクター、地域代表審査員、審査長の講評 表彰</p> <p>事務連絡</p>
12:30	<p>■実施チーム 徴収は審査員以外協力</p> <p>本部テント2張以外は徴収開始 車内積載開始 その後 解散</p>
13:00	■事務連絡 全係員解散

※すべての事項は進行によって早まる可能性があります。

※エントリーの早かったチームは実施順序が後になっています。

第6回JLAシミュレーション審査会の概要

2021年12月5日(日) 宮崎県 宮崎市 青島海岸 タイムテーブル

時間	項目
08:30	係員集合 会場設営開始
09:00	会場設営完了 エキストラ・審査員・救急隊エキストラ 説明会開始
09:30	エキストラ・審査員・救急隊エキストラ 説明完了
09:40	実施チーム受付開始
09:50	全実施チーム参加者本部テント前集合 開会式に伴い集合
09:55	<p>主催者挨拶 日本ライフセービング協会 救助救命本部本部長 石川仁憲</p> <p>紹介 審査員 宮崎市消防局警防課 救急救助企画室 室長 高橋 敬三 (たかはし けいぞう) 様</p> <p>紹介 審査員 宮崎海上保安部 警備救難課 警備係長 栗本 省吾 (くりもと しょうご) 様</p> <p>紹介 審査員 宮崎南警察署 地域課長 荒川 賢一 (あらかわ けんいち) 様</p> <p>■救急隊エキストラ 宮崎市消防局警防課 警防係 主任 横山 昂大 (よこやま あきひろ) 様 救急救助企画室 主任 工藤 昌之 (くどう まさゆき) 様 救急救助企画室 主任 神恵 拓哉 (じんえ たくや) (救命士) 様</p> <p>紹介 審査員 かごしま磯ライフセービング クラブ 山下 丞</p> <p>紹介 審査員 大分市ライフセービングクラブ 尾田 智史</p> <p>紹介 審査員 教育本部 地域教育推進委員 國木 孝治</p> <p>紹介 審査員 アカデミー本部 BLS 委員 / 宮崎県ライフセービング協会 浜田 博孝</p> <p>紹介 審査員 スポーツ本部 アスリート委員長 出木谷 啓太</p> <p>紹介 審査員 JLA スーパーバイザー 豊田 勝義</p> <p>紹介 審査員 J L A M D 君津中央病院 救命救急センター長 医師 北村 伸哉 先生</p> <p>紹介 審査員 J L A M D 防衛省防衛医科大学校病院救急部医官 兼 厚生労働省技官 医師 吉澤 大 先生</p> <p>事務連絡及び補足説明</p>
10:30	第1回目実施 宮崎県 B チーム
10:50	第2回目実施 かごしま磯ライフセービング クラブ
11:10	第3回目実施 宮崎県 A チーム
11:30	第4回目実施 大分市ライフセービングクラブ
12:00	<p>■集合写真(天候によって閉会式ははじめ若しくは最後は適宜)</p> <p>各公的救助機関、JLA メディカルダイレクター、地域代表審査員、審査長の講評 表彰</p> <p>事務連絡</p>
12:40	<p>■実施チーム 撤収は審査員以外協力</p> <p>本部テント2張以外は撤収開始 車内積載開始 その後 解散</p>
13:00	■事務連絡 全係員解散

※すべての事項は進行によって早まる可能性があります。

※エントリーの早かったチームは実施順序が後になっています。

第6回JLAシミュレーション審査会の概要

2021年12月11日(土) 静岡県下田市 吉佐美大浜海岸 タイムテーブル

時間	項目
09:00	係員集合 会場設営開始
09:30	会場設営完了 エキストラ・審査員・救急隊エキストラ説明開始
10:00	エキストラ・審査員・救急隊エキストラ説明完了
10:05	実施チーム受付開始
10:20	全実施チーム参加者本部テント前集合 開会式に伴い集合
10:25	<p>主催者挨拶 日本ライフセービング協会 救助救命本部本部長 石川仁恵 ご挨拶 下田消防本部下田消防署長 笹本雅彦(ささもとまさひこ)様 紹介 審査員 下田消防本部下田消防署 救急係長 正木 紀行(まさきのりゆき)様 紹介 審査員 下田海上保安部 交通課長 青柳 一英(あおやぎかずひで)様 紹介 審査員 下田警察署 地域課 課長 水野 栄二(みずのえいじ)様 紹介 審査員 下田市役所 観光交流課 主事 山本 雄大(やまもとゆうた)様</p> <p>■救急隊エキストラ 救急隊員 下田消防署救急係 主査 鈴木 銀也(すずきぎんや)様 下田消防署救急係 主任 山梨 勝広(やまなしかつひろ)様 下田消防署救急係 主事補 佐々木 美貴(ささきみき)様</p> <p>紹介 審査員 西伊豆松崎ライフセービングクラブ 八重澤 雄太 紹介 審査員 南伊豆ライフセービングクラブ 中山 健太 紹介 審査員 下田ライフセービングクラブ 塚本 健二 紹介 審査員 東海大学海洋学部ライフセービングクラブ LOCO 嶋本 桂佑 紹介 審査員 土肥ライフセービングクラブ 原田 大輝 紹介 審査員 教育本部 地域教育推進委員会委員 石原 早織 紹介 審査員 アカデミー本部 サーフライフセービング委員会委員 重友 章宏 紹介 審査員 スポーツ本部 競技安全委員会 委員長 平藤 昌寛 紹介 審査員 JLAM南多摩病院 血管外科部長 医師 朽方 規喜 先生 紹介 審査員 JLAM岸和田徳洲会病院 救命救急センター長 医師 鍛冶 有登 先生 紹介 審査員 JLAスーパーバイザー 飯沼 誠司 紹介 審査員 JLAスーパーバイザー 中見 隆男</p> <p>事務連絡及び補足説明</p>
11:00	第1回目実施 熱川ライフセービングクラブ
11:15	第2回目実施 相良サーフライフセービングクラブ
11:30	第3回目実施 土肥ライフセービングクラブ
11:45	第4回目実施 御浜ライフセービングクラブ
12:00	第5回目実施 用宗ライフセービングクラブ
12:15	第6回目実施 東海大学海洋学部ライフセービングクラブ LOCO
	昼食
13:15	第7回目実施 下田ライフセービングクラブ白浜地区
13:30	第8回目実施 西伊豆松崎ライフセービングクラブ
13:45	第9回目実施 南伊豆ライフセービングクラブ
14:00	第10回目実施 下田ライフセービングクラブ吉佐美地区
14:25	<p>■集合写真 ご挨拶 下田市議会議員 江田邦明(えだくにあき)様 各公的救助機関、JLAメディカルダイレクター、地域代表審査員、審査長の講評 表彰 事務連絡</p>
15:25	<p>■実施チーム 撤収は審査員以外協力 本部テント2張以外は撤収開始 車内積載開始 その後 解散</p>
15:35	■事務連絡 全係員解散

※すべての事項は進行によって早まる可能性があります。

※エントリーの早かったチームは実施順序が後になっています。

第6回JLAシミュレーション審査会の概要

2021年12月18日(土) 神奈川県 横須賀市・三浦市 和田長浜海岸 タイムテーブル

時間	項目
08:30	係員集合 会場設営開始
09:00	会場設営完了 エキストラ・審査員説明開始
09:30	救急隊エキストラ集合説明開始
09:30	実施チーム受付開始
09:50	全実施チーム参加者本部テント前集合 開会式に伴い集合
09:55	<p>進行 日本ライフセービング協会 救助救命本部本部長 石川 仁恵</p> <p>主催者挨拶 日本ライフセービング協会 理事長 入谷 拓哉</p> <p>ご挨拶 三管区海上保安本部 警備救難部 救難課長 佐々木 崇夫 (ささき たかお) 様</p> <p>紹介 審査員 横須賀海上保安部 警備救難課長 若生 仁 (わこう ひとし) 様</p> <p>■救急隊エキストラ</p> <p>横須賀市消防局</p> <p>機動救急隊 隊長 熊澤 拓也 (クマザワ タクヤ) 様</p> <p>機動救急隊 鈴木 亮太 (スズキ リョウタ) 様</p> <p>機動救急隊 梨本 仁 (ナシモト ジン) 様</p> <p>補佐 東京消防庁ライフセービングクラブ</p> <p>紹介 審査員 横浜海の公園ライフセービングクラブ 落合 慶二</p> <p>紹介 審査員 波崎サーフライフセービングクラブ 相馬 翔太</p> <p>紹介 審査員 館山サーフライフセービングクラブ 堀部 謙大</p> <p>紹介 審査員 西浜サーフライフセービングクラブ 原 伸輔</p> <p>紹介 審査員 大竹サーフライフセービングクラブ 鶴岡 宏海</p> <p>紹介 審査員 湯河原ライフセービングクラブ 西山 俊</p> <p>紹介 審査員 銚子ライフセービングクラブ 田村 憲章</p> <p>紹介 審査員 教育本部本部長 松本 貴行</p> <p>紹介 審査員 アカデミー本部 サーフライフセービング委員長 関口 義和</p> <p>紹介 審査員 スポーツ本部本部長 上野 凌</p> <p>紹介 審査員 J L A M D南多摩病院 血管外科部長 医師 朽方 規喜 先生</p> <p>紹介 審査員 J L A M D防衛省防衛医科大学校病院救急部医官 兼 厚生労働省技官 医師 吉澤 大 先生</p> <p>紹介 審査員 J L Aスーパーバイザー 飯沼 誠司</p> <p>紹介 審査員 J L Aスーパーバイザー 中見 隆男</p> <p>事務連絡及び補足説明 救助救命本部副本部長 菊地 太</p>
10:30	第1回目実施 銚子ライフセービングクラブ
10:45	第2回目実施 栗山ライフセービングクラブ
11:00	第3回目実施 湯河原ライフセービングクラブ
11:15	第4回目実施 成城学園ライフセービングクラブ
11:30	第5回目実施 大竹サーフライフセービングクラブ
11:45	第6回目実施 鹿嶋ライフガードチーム平井海水浴場
12:00	第7回目実施 鹿嶋ライフガードチーム下津海水浴場
	昼休憩 昼食
13:00	第8回目実施 西浜サーフライフセービングクラブ
13:15	第9回目実施 九十九里鋸南ライフセービングチーム
13:30	第10回目実施 館山サーフライフセービングクラブ
13:45	第11回目実施 辻堂ライフセービングクラブ
14:00	第12回目実施 常陸サーフライフセービングクラブ
14:15	第13回目実施 波崎サーフライフセービングクラブ
14:30	第14回目実施 逗子サーフライフセービングクラブ
14:45	第15回目実施 横浜海の公園ライフセービングクラブ
15:10	<p>講演 「アミノ酸によるコンディショニングについて」</p> <p>味の素株式会社 アミノサイエンス事業本部 スポーツニュートリション部</p> <p>マーケティンググループ 中村 寿徳 (なかむら としのり) 様</p> <p>■集合写真</p> <p>各公的救助機関、J L Aメディカルダイレクター、地域代表審査員、審査長の講評 表彰</p> <p>事務連絡</p>
16:15	<p>■実施チーム 撤収は審査員以外協力</p> <p>本部テント2張以外は撤収開始 車内積載開始 その後 解散</p>
16:30	■事務連絡 全係員解散

※すべての事項は進行によって早まる可能性があります。

※エントリーの早かったチームは実施順序が後になっています。

第6回 J L A シミュレーション審査会の概要

会場図

千葉県山武郡九十九里町 片貝海岸 会場図



福井県高浜町 若狭和田海岸 会場図



第6回 J L A シミュレーション審査会の概要

会場図

宮崎県 宮崎市 青島海岸 会場図



静岡県下田市 吉佐美大浜海岸 会場図



第6回JLAシミュレーション審査会の概要

会場図

神奈川県 横須賀市・三浦市 和田長浜海岸 会場図



本部テント受付にて参加者・係員・見学者含むすべての方の検温を実施します。検温実施後は、実施済みのリボンを手渡しますのでご理解ご協力の程よろしくお願い致します。

2021年10月17日(日)
千葉県山武郡九十九里町 片貝海岸会場



2021年10月17日(日)
千葉県山武郡九十九里町 片貝海岸会場



冷たい雨降る状況での審査会実施でした。

一方、無線機などを活用し、審査員にも活動するライフセーバーがどのような交信をしているのか傍受してもらい審査票に反映させた。







閉会式には、協賛企業様からのバックが参加チーム全てに手渡された。

今後のライフセービング活動に活用できる品物は、参加チームから好評であった。



エキストラの表現は、本当に事故があったかのような臨場感あふれるものとなり、参加チームの一部は想定訓練であったが緊張のあまり手の震える者もいた。





閉会式には、協賛企業様からのバックが参加チーム全てに手渡された。

今後のライフセービング活動に活用できる品物は、参加チームから好評であった。



想定にある頸椎
損傷疑いの傷病
者に対して、JLA
ガイドラインを
参考に資器材を
活用した全脊柱
固定を試行錯誤
し実施するチー
ムがあった。



救急隊到着時に、
明瞭簡潔な申し
送り実施と共に、
救急隊現場到着
後は、同じこと
を複数人で実施
し無駄のないよ
う高度な連携が
求められた。





メインストレッチャーはバランスが悪い。よって、車内収容直前では、メインストレッチャーを高い位置まで持ち上げたり、車内にスライドさせる際などは、ライフセーバーはメインストレッチャーの両サイドにつき、介助するなど、救急隊の活動支援が求められた。



伊豆半島で開催は初めてであったが、各参加チームの意識が高く、また地域の行政様の協力体制が、他の地域より秀でていた。

地域クラブが長年積み上げてきた信頼の表れと感じた。

一方、静岡県下は、湘南地域とは違い、波高の高い水浴場も少なくない。今年度の想定は頸椎損傷疑いと急性アルコール中毒疑いであったが、実際に起きている事象であることから、来年度以降の活動に活かしてもいたい。



自力歩行可能で、頸椎損傷疑い。主訴は両上肢の激しい痛み。となっていることから、立位による全脊柱固定を実施するチームが少なくなかった。

また、ネックカラーの使用頻度も少なくなく、今後の研修・勉強会制度にも要検討事項と感じた。

頸部固定の不安定さが若干見られ、傷病者に対して不用意な動揺をさせるシーンも少なくなかった。





傷病者の近くにライフセーバーが接近するも、本部に待機する監視長に救急車要請要件になる情報をいち早く伝達できるか否かが、救急車早期出発に寄与できたか否かに繋がる。

衆人観衆の捌きに対して、無線伝達事項など優先順位を試される状況となった。







2021年12月18日(土)
神奈川県 横須賀市・三浦市 和田長浜海岸



JLA SIMULATION



JLA SIMULATION



JLA SIMULATION



JLA SIMULATION





JLA SIMULATION



JLA SIMULATION





横須賀市消防局
機動救急隊

JLA SIMULATION



JLA SIMULATION



味の素株式会社アミノサイエンス事業本部スポーツニュートリション部マーケティンググループ 中村 寿徳様より、コンディショニングにおけるアミノ酸の重要性、運動前後におけるエネルギー・リカバリーとしてのアミノ酸の機能についてご講演をいただきました。高温多湿な炎天下で長時間活動するライフセーバーにとって、有意義な教養の時間となりました。



2021年12月18日(土) 神奈川県 横須賀市・三浦市 和田長浜海岸

講演 「アミノ酸によるコンディショニングについて」

味の素株式会社 アミノサイエンス事業本部 スポーツニュートリション部
マーケティンググループ 中村 寿徳 (なかむら としのり) 様



2021年10月17日(日) 千葉県山武郡九十九里町 片貝海岸

参加クラブ	18名	(3チーム)
協力機関	6名	(銚子海上保安部、山武郡市広域行政組合消防本部、九十九里町 産業振興課 商工観光係)
JLA役員・実行委員	7名	(理事、溺水防止救助救命本部委員、事務局)
審査員	13名	(メディカルダイレクター、スーパーバイザー、事業本部、クラブ)
エキストラ・スタッフ	15名	
報道関係者	3名	
見学・観覧	30名	
合計	92名	

2021年10月24日(日) 福井県高浜町 若狭和田海岸

参加クラブ	12名	(2チーム)
協力機関	7名	(若狭消防組合、小浜海上保安署、小浜警察署 和田駐在所)
JLA役員・実行委員	7名	(理事、溺水防止救助救命本部委員、事務局)
審査員	13名	(メディカルダイレクター、スーパーバイザー、事業本部、クラブ)
エキストラ・スタッフ	15名	
報道関係者	1名	
見学・観覧	20名	
合計	75名	

2021年12月5日(日) 宮崎県 宮崎市 青島海岸

参加クラブ	24名	(4チーム)
協力機関	8名	(宮崎市消防局、宮崎海上保安部、宮崎南警察署)
JLA役員・実行委員	7名	(理事、溺水防止救助救命本部委員、事務局)
審査員	13名	(メディカルダイレクター、スーパーバイザー、事業本部、クラブ)
エキストラ・スタッフ	17名	
報道関係者	2名	
見学・観覧	20名	
合計	91名	

2021年12月11日(土) 静岡県下田市 吉佐美大浜海岸

参加クラブ	60名	(10チーム)
協力機関	15名	(下田消防本部下田消防署、下田海上保安部、下田警察署、下田市役所)
JLA役員・実行委員	7名	(理事、溺水防止救助救命本部委員、事務局)
審査員	13名	(メディカルダイレクター、スーパーバイザー、事業本部、クラブ)
エキストラ・スタッフ	17名	
報道関係者	4名	
見学・観覧	30名	
合計	146名	

2021年12月18日(土) 神奈川県 横須賀市・三浦市 和田長浜海岸

参加クラブ	90名	(15チーム)
協力機関	12名	(三管区海上保安本部、横須賀海上保安部)
JLA役員・実行委員	7名	(理事、溺水防止救助救命本部委員、事務局)
審査員	17名	(メディカルダイレクター、スーパーバイザー、事業本部、クラブ)
エキストラ・スタッフ	38名	
報道関係者	5名	
見学・観覧	45名	
合計	214名	

全実施チーム**34チーム**

実施者**204名** 係員など**269名** 見学者約**145名**

合計**618名**

エリア	メディア	報道日	番組・紙面
九十九里 片貝	テレビ報道／NHK(千葉)	10月17日	NHKニュース(千葉)
	テレビ報道／千葉テレビ放送	10月17日	チバテレニュース
	WEB報道 /NHK(千葉)	10月17日	NHK 千葉 NEWS WEB
	WEB報道 /千葉テレビ放送	10月17日	チバテレプラスニュース
下田吉佐美 大浜	新聞報道／伊豆新聞	12月12日	伊豆新聞 朝刊 一面 記事とカラー写真掲載
	テレビ報道／下田有線テレビ放送	12月13日	下田 ニュース
	機関誌掲載／全国消防協会	12月28日	週刊情報(0346号)
三浦・横須 和田長浜	テレビ報道／NHK(首都圏)	12月19日	NHKニュース(首都圏)
	テレビ報道／J:COM	1月11日	LIVEニュース～横須賀・逗子・葉山・三浦～
	WEB報道 /NHK(神奈川)	12月19日	NHK 神奈川 NEWS WEB
	新聞報道／読売新聞東京本社	12月19日	読売新聞 朝刊 神奈川県版 記事とカラー写真掲載
	新聞報道／神奈川新聞	12月19日	神奈川新聞 朝刊 地域面 記事とカラー写真掲載

Clipping Article

■ 件名	第6回JLAシミュレーション審査会 片貝海岸（千葉県九十九里町）
■ 掲載媒体	NHK 千葉 NEWS WEB
■ 掲載日	2021年10月17日（日）

NHK NEWS WEB

2021年（令和3年）

千葉 NEWS WEB

海で事故想定 ライフセーバーの技術競う審査会 九十九里

10月17日 16時23分



千葉県九十九里町で海で事故が起きたことなどを想定したライフセーバーの技術を競う審査会が開かれました。

この審査会は、日本ライフセービング協会が千葉県九十九里町で開いたもので、17日は、地元の消防隊などおよそ20人が参加しま

した。

審査会は、サーフィンをしていた女性が波にあおられて海中で頭を打ったという想定や砂浜で飲酒をしていたグループの中に、具合が悪くなった人が出たという想定で行われ、参加者どうしの連携やけが人の救急隊への引き継ぎ方など、10の項目で技術を競いました。

参加した人たちは、新型コロナウイルスの感染対策に配慮しながら、救出する際の動作などを確認していました。

審査会に参加した大学生の尾島みさきさんは「ガウンやゴーグルなどを使って感染対策をとりました。ライフセーバー歴3年ですが初めて審査会に出場していい経験になりました。今後の活動に活かしていきたいです」と話していました。

審査会を主催した日本ライフセービング協会の菊池太さんは「地元の消防署の協力もあってより本番に近い緊張感を持ったトレーニングとなり、きょうの経験は技術の向上につながった」と話していました。

Clipping Article

■ 件名	第6回JLAシミュレーション審査会 片貝海岸（千葉県九十九里町）
■ 掲載媒体	チバテレプラスニュース
■ 掲載日	2021年10月17日（日）

チバテレプラス

来シーズンの海の安全に備え ライフセービングの技術を審査

2021/10/17 18:10 (JST) | 10/20 16:05 (JST) updated

© 千葉テレビ放送株式会社



来シーズンの海の安全に備え ライフセービングの技術を審査

ライフセーバーの来シーズンに向けた審査会が17日、千葉県九十九里町で開催されました。

この審査会は、JLA・日本ライフセービング協会が全国各地で行っているもので、今回は九十九里町の片貝海岸を会場に、県内をはじめ関東各地から3チー

ムがエントリーしました。

審査会では、出場者が6人でチームを組み、監視業務やチームワークの良さ、それに溺れた人の救助活動から救急車への迅速な引継ぎなど、手際よく行動できているかが審査されました。

参加チームは、日ごろ培った技術をいかに発揮していました。

Clipping Article

■ 件名	第6回JLAシミュレーション審査会 吉佐美大浜海岸（静岡県下田市）
■ 掲載媒体	伊豆新聞 朝刊 一面
■ 掲載日	2021年12月12日（日）

伊豆新聞

令和3年（2021年）12月12日（日曜日） 日刊

下田消防署の救急隊員と連携し要救助者を搬送するライフセーバー。下田市吉佐美の大浜海岸



ライフセービング技術競う

相次ぐ傷病事案に対応

日本ライフセービング協会主催の「シミュレーション審査会」が11日、下田市吉佐美の大浜海岸で開かれた。県内で活動するライフセービングクラブ10チームと関係者ら約100人が参加し、救急隊員らと連携したライフセービング技術を競った。

消防をはじめとした痛め、監視本部に自力関係機関との連携強化、ライフセービング技術の向上を目指して全国各地で行っている。下田市での開催は初めてで、伊豆地区からは下田、南伊豆、熱川、西伊豆松崎、土肥、御浜の6クラブが参加。下田消防本部、下田海上保安部、下田署などが協力した。

シミュレーションは、遊泳中の男性が波打ち際に転倒して首を

相次いで発生したとの想定で各チームが救助、応急救護などの技術を競い合った。

現場に群がる野次馬、ライフセーバーの活動を妨げる泥酔した若者、感染症対策など、実際に起こり得るシミュレーションは緊迫感いっぱい。ライフセーバーは日頃の訓練、活動の成果を発揮し、傷病の程度確認と応急救護、消防への通報と現場到着した救急隊員への状況説明、引き継ぎ、搬送支援など、一連の活動をてきぱきと繰り広げた。

参加した熱川ライフセービングクラブの田口岬さん（19）は「自分たちの力を十分に発揮できたし、良い勉強になった」と話した。

下田で初 シミュレーション審査会

GOTO効果の反動 額、人員とも大幅減

下田市入湯税10月分

下田市は11日まで 税状況を公表した。課税額は前年同月比32.5%減の347万円、課税



伊豆新聞 下田支社

下田市東本郷2-9-15
〒415-0035
電話 0558 (22) 2555
FAX 0558 (22) 2556

松崎支局
電話 0558 (42) 3225
FAX 0558 (43) 0483

伊豆新聞本社
〒414-0054
伊東市鎌田1290-6
電話 0557 (36) 1234

伊豆新聞デジタル
<https://digital.izu-np.co.jp>

ベリーさんの下田マイマイ
クリスマスマスコール
御歳暮用菓子詰合わせ
御正月用御供え餅・のし餅
平井製菓
TEL0558-22-1345代

Clipping Article

■ 件名	第6回JLAシミュレーション審査会 吉佐美大浜海岸（静岡県下田市）
■ 掲載媒体	全国消防協会 週刊情報（0346号）
■ 掲載日	2021年12月28日（火）



週刊情報



No.0346(1月4日休刊)

発行日 令和3年12月28日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03(3234)1321

◆ 日本ライフセービング協会主催の「第6回JLAシミュレーション審査会」に協力
下田消防本部（静岡）

下田消防本部では、令和3年12月11日（土）、日本ライフセービング協会が主催する「第6回JLAシミュレーション審査会」に協力しました。

この審査会は、海水浴場で起こる事故を想定し、ライフセーバーの救助救命技術の向上と公的機関との連携強化を図る目的で実施しているもので、静岡県内のライフセービングクラブ9団体が参加しました。

当日は、ライフセーバーから傷病者を引き継ぎ、連携して処置や搬送を行う救急隊エキストラ役3名と、適切な観察や救急隊への引き継ぎが行われているかなどを評価する審査員1名の合計4名が協力しました。

当消防本部では、多くの海水浴場を管轄しており、ライフセーバーとの連携は必要不可欠です。今回は、多くのライフセーバーと合同訓練が実施でき、大変有意義なものとなりました。

今後も、合同訓練等を重ね、円滑な現場活動が実施できるよう努めてまいります。



砂浜にいる人たち
自動的に生成された説明

Clipping Article

■ 件名	第6回JLAシミュレーション審査会 和田長浜海岸（神奈川県横須賀市・三浦市）
■ 掲載媒体	NHK 神奈川 NEWS WEB
■ 掲載日	2021年12月19日（日）



ライフセーバーの救助技術審査会 神
奈川 三浦 | NHK 首都圏のニュース

www3.nhk.or.jp

Clipping Article

■ 件名	第6回JLAシミュレーション審査会 和田長浜海岸（神奈川県横須賀市・三浦市）
■ 掲載媒体	読売新聞 朝刊 神奈川県版
■ 掲載日	2021年12月19日（日）



応急処置を行うライフセーバー
（18日、和田長浜海岸で）

ライフセーバー技競う 和田長浜海岸

ライフセーバーの技術を競う日本ライフセービング協会の「シミュレーション審査会」が18日、横須賀市と三浦市にまたがる和田長浜海岸で開かれ、県内外の15チームが巧みな連携を披露した。

海に入っていた女性が頸椎を痛めたほか、別のケル

木下大サカス®
 12月19日 - 3月13日
本日開幕!
 鎌倉市 湘南モノレール(大船駅より3駅)
湘南深沢駅前 特設会場
 ☎0467(41)0045

ープで飲酒していた男性が急性アルコール中毒を発症したとの想定で審査。1チーム6人が制限時間の9分間でやじ馬を制止しながら、状況把握や応急手当を行った。救急隊の要請や搬送の手伝いもした。

審査員は継続的な呼びかけができていたかなどをチェック。審査の結果、理事長賞に西浜サーフライフセ

ーピングクラブ（藤沢市）、救助救命本部長賞に辻堂ライフセービングクラブ（同）、同賞とメディアカルダイレクター賞に横浜海の公園ライフセービングクラブ（横浜市）が選ばれた。

◆コロナ29人感染

県内では18日、新たに29人の新型コロナウイルス感染が発表された。居住地別では、横浜市17人、川崎、座間市が各3人、厚木、大和、海老名、藤沢市、東京都、その他が各1人。死者は確認されなかった。一方、県は「オミクロン株」感染者（疑似を含む）の濃厚接触者が新たに236人確認されたと発表した。全員症状はなく、入国時検査で陰性が確認されている。

◆電車にはなれ死亡

18日午後3時20分頃、横浜市戸塚区戸塚町のJR戸塚駅で、40歳代とみられる男性がJR横

Clipping Article

■ 件名	第6回JLAシミュレーション審査会 和田長浜海岸（神奈川県横須賀市・三浦市）
■ 掲載媒体	神奈川新聞 朝刊 地域面
■ 掲載日	2021年12月19日（日）

海水浴場の事故 連携力強化図る

海水浴場で事故が発生した場合の公的機関とのスムーズな連携を目指した日本ライフセービング協会（JLA）のシミュレーション審査会が18日、相模湾沿いの和田長浜海岸（横須賀、三浦市）で開催された。写真。JLAに加盟する関東地区の15クラブが参加し、来夏に向けて連携力を高めた。

事故が起きた際、ライフセーバーは消防などと連携して、迅速、的確に医療機関へ傷病者をつなげることが重要になる。審査会では、ほぼ同時に2カ所で事故が発生した想定で、1チーム6人が制限時間内に適切な対応ができたかをチェック。横須賀市消防局の機動救急隊員3人も参加し、本番さながらの緊張感あふれる内容だった。

最高賞のJLA理事長賞には西浜サーフライフセービングクラブ（藤沢市）が選ばれた。JLAは「連携がうまくできれば搬送までの時間も短縮できる。参加者は非常に連携レベルが高かった」と評価した。



【所感】

先ずは第6回目の審査会に参加して下さった多くの皆様に感謝いたします。

今年度は、全国5カ所開催は初めての試みでしたが、それぞれの地域で大きな成果を上げることができました。

それには、多くの企業様からのご支援があるからこそ継続できていると深く感謝しております。

このご支援は、我々ライフセーバーのためでなく、多くの水辺利用者にとって安心安全な環境作りに審査会を通して役立たせて頂いています。

また、審査会当日に向け各地域の各行政様と十分なお打ち合わせができたのは、ひとえに、各地域で多くの時間を費やして、動いてくださったホストクラブの方々がおられたからと感謝しています。

地域ライフセービングクラブが長い時間をかけて積み上げてきた地域行政様との信頼関係が十分構築されている地域や、今回の審査会を通して地域ライフセービングクラブと関係行政様と顔の見える関係となれた地域もありました。

いずれにせよ、水辺利用者にとっては、安心安全に繋がる良き効果であったと信じています。

一方、係員やエキストラに関して、年々協力して下さるメンバーが増えていることや、係員各セクション、エキストラの演技指導などとても大切なポジションの後輩への伝達作業なども垣間見え、次世代へ引継ぎも同時進行で進め、今後の展望に明るさを感じています。

審査会の趣旨や目的は、本報告書の2ページ目に記載ありますが、今回の想定で大きな課題として見えてきている項目に、傷病者のいる現場からの情報が監視長に明瞭簡潔に伝達されているかがライフセーバー間の連携能力に大きく影響したのではないのでしょうか。

この事は、有事対応時だけでなく、監視業務を含むすべての行動時にも必要不可欠な能力です。

来年度も全国5カ所で開催を予定しています。

今後とも皆さんと共に、高い誇りを持って活動できるよう、邁進していきますので、どうかお力添えの程宜しくお願い致します。

最後になりますが、地域クラブから選抜された審査員の【検討推奨事項】は、各浜で長い歴史ある監視業務を先人から受け継ぎ、今日まで多くの経験に基づいて構築された貴重な物ととらえています。

第6回JLAシミュレーション審査会 検討推奨事項に示した『エキストラ所感』『審査員所感』は審査員などから取りまとめた【検討推奨事項】となりますので、『メディカルダイレクター所感』と同様、熟読して頂き、今後のパトロールに活かして頂くことが、審査会の根幹であり、運営側から切望するところであります。

今後も、皆さんと一緒に審査会の運営自体も検討し、大きな効果を得られるようご協力のほど宜しくお願い致します。

公益財団法人 日本ライフセービング協会
救助救命本部

第6回JLAシミュレーション審査会 実行委員長 菊地太